

新商品

創立70周年を記念して空前の  
大刷新 10万品番の8割以上

ジャパン建材フェアに出展している各企業のブースを見学していて、おどろいたのは大手建材メーカーの大建工業（大阪市北区堂島、億田正則社長）のブースだった。全商品（10万点もの品番がある）の大部分（8割以上）をリニューアルして、この秋の創立70周年に合わせて発売するという。これだけの数のリ

ニューアルを一度に行うという試みは今まで聞いたことがない。大建工業は、今年9月26日に創立70周年を迎える。第二次世界大戦の終戦直後に創立した企業で、戦後復興、高度成長時代、オイルショック、バブル景気と崩壊、地球環境保全、大震災と復興、などの激動の時代の

変化の中で、多様化していくニーズをいち早く捉えて、時代に先駆けた建材商品として世に送り出してきた。その社が、新しい歴史への挑戦として、新しい価値を提供するということをビジョンに掲げて、この大規模なリニューアルを行ったのだという。10月21日に本発売されるという商品の概要については、8月に同社が発行した「70周年記念新製品ダイジェストカタログ」に掲載されているので、そちらを参考にしているのだが、すでに公表されているリリースとしては、内装建材シリーズのhapia（ハピア）シリーズを

全面的に刷新するということだ。室内ドア・収納・造作部材の表面化粧シートを一新。製品表面の耐汚染性能を高めた。また木目柄の色合いを統一してコーディネート



70周年記念新製品を紹介展示した大建工業



大建工業 70周年記念新製品ダイジェスト  
(全70ページ 10月21日発売予定品を紹介)



hapia（ハピア）シリーズ 新ドアデザインの例



MiSEL  
キッチンカップボード用プラン



MiSEL 小上りユニット



国産杉集成材を使用